



しかはま自然観察会

のらえもん

2022 年度

No. 1 4

2023. 02. 25~26

『 人も 自然も みんな友だち 』

第14回活動 土呂部の冬のごちそう 「メイプルプルシロップの樹液採り」

3年ぶりの活動です。

土呂部の里山は、のらえもんを温かく迎えてくれました。

1日目は、ソリでいっぱい遊びました。

2日目は、イタヤカエデの樹液を採集しました。

里山の恵みに、たっぷりと浸ってきました。

1, 日 時：2023年2月25日（土曜日）～26日（日曜日）

2, 場 所：日光市土呂部

3, 天 気：1日目 晴れ 13:00頃 気温・・・3℃ 雪の中0.2℃
22:00頃 気温・・・-5℃
2日目 曇り 7:00頃 気温・・・-4.5℃

4, 集 合：現地集合
民宿水芭蕉苑前

5, 参加者：総数11名 4家族
大人 4
小学 2
幼児 2
スタッフ 3

6, 活動内容：

○ たくさんの「おもてなし」をいただく

土呂部でただ一軒の宿「水芭蕉苑」の女将さんには、心のこもったおもてなしをいただき、人の温かさをいっぱいいただいた。

お昼頃に集合し、そのまま宿のコタツで昼食をとらしてもらった。お茶と茶菓子の接待があり、部屋に荷物を置き着替えもできた。

里山でソリ遊びをした後、4時頃宿に戻ると入浴だ。男は、8人全員で裸の付き合いとなった。順番に湯船に入り、子どもたちと手で水鉄砲をつくり、お湯のかけあい！

夕食は、子ども4人と大人7人のテーブルで。たくさんの人と食事をするのは、なんか、とっても暖かい雰囲気だった。イワナの塩焼きにヤシオマスの刺身が付く豪華なもの！飯村さんが差し入れしてくれた日本酒が美味しい！会話が、また味付けだ！

朝食は、温泉卵に納豆・紅鮭と、お腹いっぱいだ！

お昼も、コタツで食べて、のんびりゆっくりさせてもらいました。

○ 雪のある寒い里山を満喫！

1日目は、ソリで存分に滑った。2本の線が斜面を下って行く。雪はザラメ状の硬雪なため、よく滑った。滑っては登り、をくり返す。

最後は稜線を歩き、一周した。途中のカッパの泉の水温は9, 5℃だった。ちなみに、宿の外にある水道は5, 1℃だった。

2日目は、飯村さん・湯沢さんのご指導によるイタヤカエデの樹液採りだ。

樹液の取り方を、飯村さんが教えてくれる。南側の幹に穴を開け、コックを差し込む。タンクは北側置き、雪を被せて冷やす。透明の管をつなぐと、少しではあるが樹液が出てきた！（以前は、穴を開けたとたん樹液が水道のように飛び出してきた。）

27まであるタンクの樹液を回収する。今回は、とても少なく、やっと2つのタンクに集められただけだった。その樹液を、500mmリットルずついただいた。端さんは、その樹液を煮つめ、琥珀色のメイプルシロップにした。

ラストは、樹液で煮たうめ・ぶどう・いちごのジャムをかけた天然かき氷だった！

7, ふりかえりの感想

○ たのしかった。

ソリのスピードがはやくて、こわいです。

やまのぼり、たのしい。

年中

○ たのしかった。

かわをわたるとき、こわかったよ。(樹液を採るためにわたった川)

きょう、とまるのがたのしかったよ。

あさごはんとひるごはんを、いっぱい食べた。

きのうときょうのソリがたのしかった。

年長

○ 違う季節で同じ場所に行くことができるのは、すごいぜいたくなことだと思います。

夏の木々も良いですが、冬の雪も冷たい空気も静けさも、とても気持ちよかったです。

自然の恵みを、大事にいただきます。

そりあそび すべる楽しい 登りはつらい

江北小4年

母

○ メイプルシロップたくさんとれたけど、何に使うか、まだきめていない。

楽しかったです。

何度参加しても、初めて参加するようなワクワク体験で、とても楽しかったです。

あたたかいおもてなしに、癒されました。

これからも、民宿の存続をしていただきたいと思います。

そり遊び すべる楽しさ 登る苦しさ

江北小4年

母